

1. 単元名 「もっと知ろう！友達や自分のこと。」

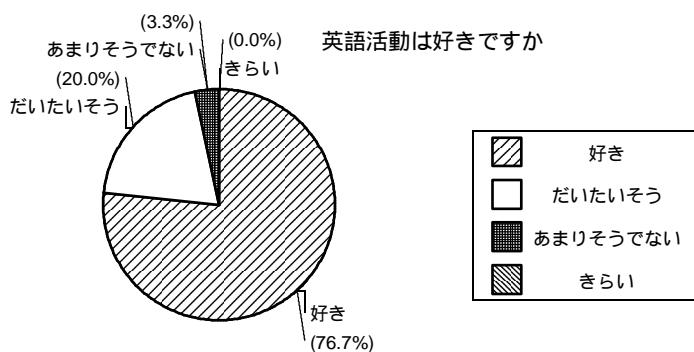
2. 単元設定の理由

こんな児童だから
本学級の児童は、第1学年から学校裁量や総合的な学習の時間の中で、年間10~20時間ほどの英語活動を行ってきた。児童はこれまでに、簡単な挨拶や色、動物、文房具、スポーツなどの単語を習得し、これらを使った簡単な会話にも慣れ親しんでいる。第1学年からの取組で、英語活動に対する関心は高く、児童の好きな教科の一つである。

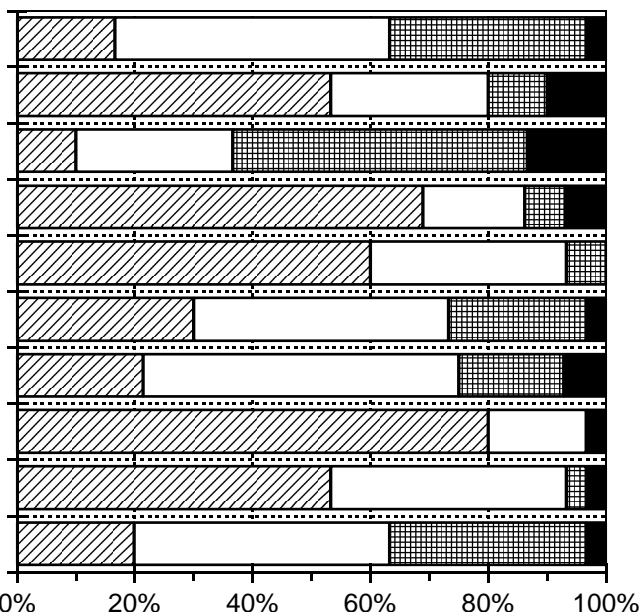
ALTの来校は学年によりばらつきがあるものの、低学年時は年間3時間程度、中学年時は15時間ほどである。ALTと一緒に遊んだり、給食を食べたりするのをとても楽しみにしている。「次はいつ来るの？」と聞いてくる児童もたくさんいる。

このように、ALTとの関わりは楽しみにしているものの、クラスへの関心は日常的なものになりすぎていて、「知っているつもり」になっていることも多い。また、中には人間関係にも偏りのある児童もいて、決まった人とコミュニケーションをとることが多い。そこで、英語活動の時間を通して、いろいろな人とかわり、「もっと相手のことを知りたい」「人と関わるのは楽しい」と感じるような活動を展開していく必要があると考えた。

資料：アンケート結果（数値は%）



～ 構成的グループエンカウンターの視点を取り入れたアンケート～



- 自分のいいところを3つあげられますか。
- 自分のやりたい職業や好きなことがはっきりとわかりますか。
- 同じ班の友達の好きなことや得意なことを知っていますか。
- ALTや友達のことを「もっと知りたい」と思いますか。
- がんばったときに、家族や友達、先生にほめられたことがありますか。
- 自分のことが好きですか。
- 自分の意見や考えを友達に言えますか。
- みんなで一緒に活動したり遊んだりするのが好きですか。
- 友達と協力して活動できますか。
- 友達の気持ちや考えに気づくことができますか。

自己理解 自己主張
他者理解 信頼体験
自己受容 感受性
(構成的エンカウンターの視点を取り入れたアンケート)

4. 単元計画

時	ねらい	主な活動	言語材料
1	<ul style="list-style-type: none"> みんなで協力してできるといって体験すること 人間関係を深める 非言語でのコミュニケーションを体験する さまざまな英語の単語に親しむ。 <p>(信頼体験)</p>	<p>「協力して伝えよう」ステレオゲーム</p> <p>前1グループ(4人)が出て、一斉に英語を言う。グループで協力して何を言っているのかを当てる。</p> <p>「わたしはどのグループ？」額に貼ったシールの色や模様を非言語で伝え合い、グループをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> apple, orange, melon, grape monkey, lion, rabbit, cat baseball, basketball, volleyball, swimming ... red, blue, yellow, green star, triangle, circle, heart...
2	<ul style="list-style-type: none"> ALTの説明を聞いて、共同絵画の題材の言い方に親しむ。 友達の顔をよく観察し、それぞれ違うところを気づく。 (感受性) 	<p>「相手のことをじっくり見つめてみよう」共同絵画</p> <p>ALTの説明から必ず描くものを聞き取る。題材の言い方に親しむ。グループでパーツごとに交代しながら1枚の絵を描く。グループの時間がきたら、描いているときのことを持ち話し合う。</p>	eyes, nose, ears, mouth, faceline, eyebrow, hair,
3	<ul style="list-style-type: none"> 自分ことやALTや友達のことをよく知ろうとする。 (自己理解・他者理解) 	<p>「みんなちがってみんないい」</p> <p>友達、なあるほど5</p> <p>・自分の好きな物(こと)を伝えたりALTや同じ班の友達のことを知る。</p>	I like~. My favorite is~.
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語を聞いたり言ったりして友達をかわかることを通して、自分のよさを発見する。 (自己理解・自己表現) 	<p>「自分のいいところ発見！」</p> <p>印象ゲーム It's you!</p> <p>ALTがテーマに沿って選択肢を提示し、それぞれに最もあてはまる友達を班の中から選ぶ。</p> <p>選ばれた児童は、どの理由を尋ね、日本語で説明してもらおう。</p> <p>感想や発見をシェアリングしてもらおう。</p>	得意なことなど(掃除が上手なのは?字がきれいなのは?ドッチボールが得意なのは?...)他にも家族、将来の職業、教科など。

5. 本時 平成20年 10月14日(火) 5校時 4年 組教室にて

6. 本時指導の考え方

本学級の児童は、前時までの活動で、英語での自己紹介の仕方や自分の好きなスポーツ、食べ物などの言い方に慣れ親しんでいる。また、エンカウンターを取り入れた活動も行っている。第1時では「ステレオゲーム」や「私はどのグループ？」など信頼体験のエクササイズを行っている。第2時では、「共同絵画」で友達の顔をじっくり観察し、一人一人顔の形やパーツが違うことに気づく活動を行っている。第3時では、エクササイズ「友達、なあるほど5」という活動を通して、自分の好きな物(こと)を伝えたり、ALTや同じ班の友達のことを聞いたりするなかで、友達から見た自分やALT、友達のことを知る体験を行っている。

本時の活動では、エクササイズ「印象ゲーム It's you!」の活動を通して、友達の印象を伝えたり、自分の印象について理解したりすることがねらいである。

そこで、まず、4~5人グループを作り、ALTが紹介した選択肢を聞いたり繰り返したりしながら、それぞれの印象にあてはまる友達を考える。次に、「班の中で字が丁寧な人は?」「掃除が上手な人は?」などというALTの問いに対して、「It's you!」と言いながら友達を指す。指された児童は、指してくれた児童に「Why, Kaori?」と理由を尋ね、尋ねられた児童は、「Because~」と理由を言う。ここでは、英語での理由は難しいため、日本語で話してもよいこととする。

シェアリングでは、自分の印象に対する新たな気づきや、友達に言われてうれしかったことを中心に話し合うようにする。

これらの活動を通して、自分のよさを再発見し、自己理解を深めるとともに自尊感情を高めていきたい。また、他の人のよさやその理由を考えることにより、他者への関心も高め、人間関係づくりのきっかけとしていきたいと考える。

7. 本時の目標

簡単な英語を聞いたり言ったりしながら友達と関わる活動を通して、自分のよさや他の人のよさを発見する。

8. 準備

教師：児童の顔写真カード・掲示用カード(質問に合うもの)ワークシート
児童：筆記用具

9. 展開

時間	活動内容	教師の支援		指導上の留意点
		HRT	ALT	
3	1 Greeting	Let's say "Hello" to .	Hello, everyone. How are you?	
5	2 Warm up サイコロあいさつゲーム 2つのサイコロ(1つは挨拶の相手, 1つは挨拶の方法)を教師がふり, 出た目に合わせて友達と挨拶する。	Today's partner is ~ The way to greet is ~	Let's go!	・ジェスチャーやスキンシップを取り入れた挨拶を行い, 緊張をほぐす。
25	3 Activity (1)本時のめあてをつかむ。	Today's aim is ~		・活動のねらいとルールについて簡潔に説明をする。
「印象ゲーム It's you!」をして、自分のよさを発見しよう!				
	(2)「印象ゲーム It's you!」をする。 全体で ・ALTの質問をよく聞く。 ・一番当てはまる友達を一人選び "It's you" と言いながら指さす。 班の友達と ・と同様の流れ	Let's play a game. I'll show you how. Listen to . Choose one friend in this class, and point him saying "It's you". Choose one friend except you.	Who is the tallest? Who is the best English speaker? "Who is good ...?" 1 running 2 writing 3 reading books 4 cleaning 5 helping 6 studying	・クラス全員を対象に "It's you!" と指さし, "Why?" "Because" の言い方も紹介しながら, ゲームの見通しをもたせる。 ・ALTの質問の意味を推測できるように, 絵カードを参考にさせる。 ・班内で番号をつけておき, 1番の児童から順に, カードを置いた友達に理由を尋ねさせる。
	班の友達から選んだ理由も伝えてもらう。 ・ALTの質問をよく聞く。 ・一番当てはまる友達を一人選び "It's you" と言いながらネームカードを置く。 ・班の番号の児童から順にカードを置いた友達に対して "Why ?" と尋ねる。 ・尋ねられた児童は "Because..." を使って答える。 ・区切りの合図が聞こえたら次の質問を聞く。	Put your name card on his desk saying "It's you". When you were put a card, ask "Why ?" When you were asked, answer "Because..."	・ occupation of the future 1 athlete 2 manga artist 3 flower shop worker 4 inventor 5 teacher 6 actor, comedian singer 7 prime minister ・ character 1 energetic 2 kind 3 know a lot 4 funny 5 leadership	・理由を伝えるときは, 友達の <u>良い面</u> と結びつけて伝えさせる。 ・事前アンケートをもとに, あてはまらない児童が出ないように配慮する。
5	4 Reflection (Sharing) (1)今日の感想や発見を発表する。 ・自分のどんなよさが発見できたか。 ・友達から選んでもらってどう感じたか。	Did you find your good point? How did you feel when you were pointed?		・ワークシートの簡単な質問に答える。自分が言ってもらった項目に をつける。 ・友達に言われてわかった自分の新たな一面やよさについて何人が発表させる。
2	5 Closing	That's all for today. Let's say "Thank you" and "goodbye" to .	See you!	
5	6 詳しい感想を書く。			・ワークシートに感想を記入させる。